

## 当院脳神経科診療について

### 【ご挨拶】

2025年10月より、毎週金曜日に阿佐谷ペットクリニック勤務となりました大竹大賀です。  
私は大学卒業後、この阿佐谷ペットクリニックに勤め、その後10年ほど大学病院などで脳神経科診療と手術の勉強をしつつ、実際の診療や手術も多く行ってまいりました。  
特にてんかん診療、脳神経外科(脳腫瘍摘出など)、椎間板ヘルニアに対する低侵襲治療(PLDD)などに力を入れております。  
今後も神経病に悩む動物たちをお助けてできればと考えております。

以下の症状お悩みの方はぜひご気軽にご相談ください。

- 突然全身を硬直させたり、バタバタと激しく足を動かす（発作）
- 頭が左右どちらかに傾いている（斜頸）
- いつもボーッとしていて、音や光の刺激にもあまり反応しない
- 光や音の刺激に過剰に反応して、筋肉が痙攣する
- 頭や耳を頻繁に搔いている
- 筋肉が一部痙攣している
- ベロの動きが悪くなった、口が閉じられなくなった
- 夜中に鳴くようになった、徘徊する
- 突然怒るようになった
- 瞳孔が開いていて、よく物にぶつかる
- 筋肉が突然薄くなった
- 抱っこしたらキャンと鳴いて痛がって、震えている
- 足が動かなくなった
- ご飯を食べたり遊んでいる時など、興奮すると力が抜けて倒れてしまう
- ご飯時に鳥のように激しく頭をお皿に突っ込んで食べる
- 鼓笛隊のように足を大きく振って大げさに歩く

### 【対応疾患例】

てんかん、脳腫瘍、脳炎、水頭症、脳梗塞、脳出血、脳奇形、先天性代謝異常症、ラフォラ病、下垂体依存性性クッシング症候群、ナルコレプシー、認知機能障害・脳萎縮、末梢神経鞘腫、脊髄腫瘍、椎間板ヘルニア、変性性脊髄症、脊髄梗塞、環椎軸椎関節異常、尾側後頭骨奇形症候群 (COMS)、脊髄空洞症、馬尾症候群など

### 【経歴】

- ・日本大学 生命資源科学部 獣医学科 卒業
- ・2011年～2015年 阿佐谷ペットクリニック勤務

- ・2014年～ 日本獣医生命科学大学 放射線学教室神経班研修生（現在は社会人大学院生）
- ・2016年 Brain Camp (Neuroscience Course, Ohio state university) 修了
- ・2017年～ JAHA認定 総合臨床医（2022年更新）
- ・2019年～ 小滝橋動物病院グループ勤務獣医
- ・2020年 Cranial Neurosurgery Course and Laboratory(iVEAT & DHC Neurology at Chi University, Florida) 修了
- ・所属学会：獣医神経病学会、獣医脳神経脊椎外科研究会

### 【手術実績】

<脳外科>

脳腫瘍摘出手術、後頭孔拡大術（FMD）、脳室-腹腔短絡術（VP シヤント）、緊急開頭脳減圧

<脊椎脊髄外科>

椎間板ヘルニアに対する各種手術（片側椎弓切除術[ヘミラミネクトミー、ミニヘミラミネクトミー]、腹側減圧術[ペントラルスロット]、経皮的レーザー椎間板髓核減圧術[PLDD]）、脊髄腫瘍摘出手術、環椎軸椎固定術、ウォブラー症候群や馬尾症候群などに対する椎体固定術

小滝橋動物病院グループ

獣医師 大竹大賀

